

見 本

推 薦 書

令和 年 月 日

産業医科大学長 殿

推薦者（所属） _____

（職名） _____

〔自署・押印のこと〕（氏名） _____

〇〇〇〇君（氏、先生）は、……………

クリップで
綴じること。
ホッチキスは
不可。

見 本

教 員 個 人 調 書

- (1) 履歴書
- (2) 教育研究業績書

氏 名 産 業 学

注) 上記のとおり、教員個人調書の表紙を必ず作成のこと。

①表紙、②履歴書、③教育研究業績書を作成のうえ、左上端をクリップで綴じること。
ホッチキスは不可。

履歴書の記載要領

別紙の記載例に従って、MS ワード 2013 以上を使って作成してください（氏名の自署部分を除く）。
用紙の規格は、次のとおりとします。

A 4 版 用 紙	上余白	3 0 mm程度	フォントサイズは、1 0 . 5 ポイント
	下余白	1 0 mm程度	
	左余白	3 0 mm程度	
	右余白	1 0 mm程度	

履歴書の枚数の制限はありません。
記載にあたっての注意事項は次のとおりです。

- ① 氏名等について
 - ・氏名には、平仮名で、ふりがなを付ける。
 - ・記載時現在における年齢を記載する。性別の記載については、任意とする。
- ② 学歴について
 - ・高等学校入学から記載する。
 - ・大学は、学部名、学科名を記載する。
 - ・大学院は、研究科名、専攻名、課程名を記載する。
 - ・研究生等の研究歴を記載する。
- ③ 免許・資格について（医師等の免許証の写しを添付する。）
 - ・認定医、専門医、産業医等の資格についても記載する。
 - ・本学産業医学基本講座修了については、認定年月をこの欄に記載する。
（修了認定の年月については、修了認定書(ディプロマ)を確認のうえ、記載する。）
- ④ 学位について（学位記の写しを添付する。）
 - ・修士以上の学位について、記載する。
 - ・授与された大学名、授与年月日および学位記番号を記載する。
- ⑤ 職歴について
 - ・海外留学（外国の大学等で研究に従事）は、職歴欄に記載する。
なお、外国の大学院等に在学し、博士等の学位を取得した場合は、学歴欄に記載する。
- ⑥ 賞罰について
 - ・受賞、刑事罰のみではなく、学生に対するセクハラ・性暴力等を含むハラスメント全般、
研究不正・研究費不正受給、その他の事由による懲戒処分等を受けた場合は、その原因
となった具体的な事由について、必ず記入すること。

履 歷 書

写真添付

縦 4cm

横 3cm

ふりがな さんぎょう まなぶ
氏 名 産 業 学
生年月日 昭和〇〇年〇月〇日（〇〇歳） 男（性別記載については任意）
現 住 所 〒807-8555 北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1
 TEL 093（603）1611
 E-mail : kyoujinjinji@mbx.pub.uoeh-u.ac.jp

學歷

昭和〇〇年 〇月 福岡県私立〇〇高等学校入学
平成〇〇年 〇月 同上卒業
平成〇〇年 〇月 〇〇大学医学部医学科入学
平成〇〇年 〇月 同上卒業
平成〇〇年 〇月 〇〇大学大学院医学研究科〇〇系専攻博士課程入学
平成〇〇年 〇月 同上修了

免許・資格

平成〇〇年〇〇月 第〇回医師国家試験合格 医師免許証（医籍登録第〇〇〇〇号）
平成〇〇年〇〇月 〇〇〇〇大学〇〇〇〇基本講座修了認定（第〇〇号）
平成〇〇年〇〇月 日本〇〇学会認定〇〇科認定医（認定番号：〇〇〇）

学 位

平成〇〇年〇〇月 博士（医学）の学位授与（産業医科大学 博医甲第〇〇号）

職 歷

平成〇〇年〇〇月	〇〇大学病院 産業医学修練医（臨床研修医）に採用 （産業医修練コースⅡ 〇〇科） △△病院へ出向（平成〇〇年〇〇月～平成〇〇年〇〇月）
平成〇〇年〇〇月	〇〇大学病院 産業医学修練医（専門修練医）に採用 （産業医修練コースⅡ 〇〇科）
平成〇〇年〇〇月	同上辞職（産業医修練コースⅡ修練期間満了による）
平成〇〇年〇〇月	〇〇労災病院 医師に採用
平成〇〇年〇〇月	同上辞職
平成〇〇年〇〇月	産業医科大学 助教（医学部〇〇〇〇学）に採用 現在に至る

所属学会

平成〇〇年〇〇月 日本〇〇学会

社会における活動等

平成〇〇年〇〇月 日本〇〇学会雑誌編集委員会委員
平成〇〇年〇〇月 厚生労働省〇〇審議会委員（～平成〇〇年〇〇月）

賞 品

なし

本書類の記載内容については事実に相違なく、虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となり得ることについて了承します。

令和 年 月 日

氏 名

(自署)

教育研究業績書の記載要領

別紙の記載例に従って、MS ワード 2013 以上を使って作成してください（氏名の自署部分を除く）。
用紙の規格は、次のとおりとします。

A 4 版 用 紙	上余白	3 0 mm程度	フォントサイズは、1 0 . 5 ポイント
	下余白	1 0 mm程度	
	左余白	3 0 mm程度	
	右余白	1 0 mm程度	

記載にあたっての注意事項は、次のとおりです。

- ① 表紙として「教育研究業績書内訳」を作成すること。
- ② 以下の区分で、別葉として発表年順に記載し、それぞれ一連番号を付すこと。学位論文には◎印を、他の自薦の主要論文（10 編）には○印を付し、その両者については、雑誌等の次の行から論文要旨（日本語で 200 字程度）を記載すること。
また、印刷中の論文については、その旨を記載し、掲載受理証明書（写）を添付すること。
 - I 著 書
 - II 総 説
(欧文は 2025 年 6 月発表の 2025 年版<対象年:2024 年>Journal Citation Reports の Impact Factor を各論文の最後に記載してください)
 - III 原 著
(欧文は 2025 年 6 月発表の 2025 年版<対象年:2024 年>Journal Citation Reports の Impact Factor を各論文の最後に記載してください)
 - IV 報告・その他
(欧文は 2025 年 6 月発表の 2025 年版<対象年:2024 年>Journal Citation Reports の Impact Factor を各論文の最後に記載してください。査読を受けた論文のみ記載してください。)
 - V 学会発表
(特別講演、シンポジウム等国内、国際学会発表のうち、主要なもの)
 - VI 学術研究費の交付、特許取得等
(研究課題、年度、交付機関名および代表・分担の区別)
 - VII 研究業績一覧表

なお、記載にあたっては、それぞれの項目の記載例にならってください。

著書名（全員）、論文タイトル、雑誌名等は、それぞれ改行してください。また、本人名の下にはアンダーラインを引いてください。

外国雑誌の略名は、List of Serials Indexed for Online Users(National Institutes of Health, National Library of Medicine)に準じてください。

教育研究業績書 内訳

令和 年 月 日

氏 名 (自署)

- I 著 書

〇〇編 (欧文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
(和文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
- II 総 説

〇〇編 (欧文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
(和文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
- III 原 著

〇〇編 (欧文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
(和文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
- IV 報告・その他

〇〇編 (欧文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
(和文 〇〇編、筆頭者〇〇編)
- V 学会発表

〇〇編 (国際学会 〇〇編、筆頭者〇〇編)
(国内学会 〇〇編、筆頭者〇〇編)
- VI 学術研究費の交付、特許取得等

〇〇件
- VII 研究業績一覧表

教育研究業績書

I 著 書 (欧 文)

氏 名 産 業 学

(著者名が、論文著者欄で確認できかつ MEDLINE で検索されるものに限る)

- 1 Sangyo M:
Handbook of Neurosurgery.
Neurosurgical Review, Hundsfield H ed, Health Publication Ltd : pp21-28, 2000
- 2
- 3
- 4

教育研究業績書

I 著 書 (和 文)	氏 名	産 業	学
1 産業 学: 脳神経外科臨床診断. 脳神経外科学体系, 木村一郎編, 山川出版 : 21-28 頁, 2000			
2			
3			
4			

教育研究業績書

Ⅱ 総 説 (欧 文)

氏 名 産 業 学

(著者名が、論文著者欄で確認できかつ MEDLINE で検索されるものに限る)

○ 1 Sangyo M, Asakawa J:
Surgical treatment for trigeminal neuralgia.
Neurosurgery 58:23-27, 2000 (IF:)

2

3

4

教育研究業績書

Ⅱ 総 説（和 文）	氏 名	産 業	学
1	産業 学	浅川二郎	：
	脳神経外科領域における細菌検査の意義.		
	日本脳神経外科学会誌 21：83-86, 2000		
2			
3			
4			

教育研究業績書

Ⅲ 原 著（欧 文）氏 名 産 業 学

（著者名が、論文著者欄で確認できかつ MEDLINE で検索されるものに限る）

○ 1 Sangyo M, Asakawa J:
Serum adenosine deaminase activity in the differentiation of brain tumor.
J Neurosurgery 58:23-27, 1993 (IF:)

2

◎ 3

4

教育研究業績書

Ⅲ 原 著（和 文）	氏 名 産 業 学
------------	-----------

1 産業 学, 浅川二郎 : 神経芽細胞腫における遺伝子多型. 日本脳神経外科学会雑誌 21 : 83-87、2000	
2	
◎ 3	
4	

教育研究業績書

IV 報告・その他（欧 文）

氏 名 産 業 学

（著者名が、論文著者欄で確認できかつ MEDLINE で検索されるものに限る）

- 1 Sangyo M, Asakawa J:
Severe subarachnoid hemorrhage in early pregnancy: a case report.
J Emerg Med 45:23-26, 2003 (IF:)

2

3

4

教育研究業績書

IV 報告・その他（和 文）	氏 名	産 業	学
1	産業 学, 浅川二郎 :		
	異所性下垂体腺腫の 1 例.		
	日本脳神経外科学会雑誌 21 : 83-85、2001		
2			
3			
4			

教育研究業績書

V 学会発表（国際学会）氏 名 産 業 学

1 Sangyo M, Asakawa J :
Weekly and seasonal variation in frequencies of occurrence of sudden deaths among
Japanese workers.
The 10th International Conference on Neurosurgery, Seattle, USA, 2000

2

3

4

教育研究業績書

V学会発表（国内学会）氏名産業学

- 1産業学：
新生児期におけるけいれん発作
第50回日本脳神経外科学会、シンポジウム「新生児期の患児マネジメント」、北九州、2000
- 2
- 3
- 4
- 5

教育研究業績書

VI 学術研究費の交付、特許取得等		氏 名	産 業	学
1	科学研究費補助金 ○○研究 課題番号○○○○○○○○ ○○年度～○○年度 研究課題：○○○○○○○○について			
2				
3				
4				
5				

教育研究業績書

VII 研究業績一覧表

氏 名 産 業 学

全ての業績

総説

Impact Factor 総得点	〇〇点
筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
第2著者 Impact Factor	〇〇点
Corresponding author Impact Factor	〇〇点

原著

Impact Factor 総得点	〇〇点
筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
第2著者 Impact Factor	〇〇点
Corresponding author Impact Factor	〇〇点

報告・その他

Impact Factor 総得点	〇〇点
筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
第2著者 Impact Factor	〇〇点
Corresponding author Impact Factor	〇〇点

最近の5年間（2021年以降直近まで）

総説

Impact Factor 総得点	〇〇点
筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
第2著者 Impact Factor	〇〇点
Corresponding author Impact Factor	〇〇点

原著

Impact Factor 総得点	〇〇点
筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
第2著者 Impact Factor	〇〇点
Corresponding author Impact Factor	〇〇点

報告・その他

Impact Factor 総得点	〇〇点
筆頭著者 Impact Factor	〇〇点
第2著者 Impact Factor	〇〇点
Corresponding author Impact Factor	〇〇点